

富山市議会議員

# 江西照康

## 令和5年3月定例会 議会傍聴ダイジェスト

令和5年3月10日(金)午前10時から

持ち時間45分 一問一答方式ケーブルテレビ生放送&インターネット生+録画

### 活動報告 警察庁へ要望



富山市北部の東西を結ぶ草島線を縦断するライトレールの踏切と千原崎交差点信号が近接しているため、その巡りあわせにより発生する朝の渋滞。

この課題解消に向け、ライトレール側に何かできることはないかを確認すべく、野上参議院議員に国土交通省との面談を

お願いしたところ、国土交通省側には持ち合わせる情報が無いとのことで、代わりに信号機を所管する警察庁が話を聞いてくれることになりました。

これをきっかけに富山県警と協議してくれているとのこと、渋滞解消に期待したいところですが、なかなか難しいよう

な気がします。ライトレールは軽いのですから、その制御に電車信号を使えば良いのでは無いかと考えるのですが、ライトレールが単線であるために、想定外の停車は、対面すれ違い全てに影響を与えてしまい、それ

も難しいようです。このことについては、何とかならないものかと考える方も多いと思いますのでここでご報告しておきます。



### 線引き廃止は可能か

線引き都市計画の課題へのしつこいほどの取り組に、何かいつも同じことばかり言っていると疑問を持つ方もいるのでは無いかと思います。全ての道はという

が線引き都市計画抜きには語ることができないと思っております。

今回、質問にあたり担当部局の幹部職員と話して分かったのですが、線引き廃止をした高松市にその影響などを調査しに行ったとのことですが、以前ならありえなかつたことだと思えますから大きな進歩です。

現在、線引きは強制から任意に変わりました。米の値段が安いのも、農水省が農家を顧みないのも、そして都市の中に偏りが発生するのも線引きの影響だと考えています。

令和4年度は私にとつて、激動の年度となりました。

市議員としては、昨年の1月に会派が分裂したのですが、その時は副議長をしていましたので、議員仲間とは距離のあるところになりましたが、4月から幹事長として会派活動に参加しました。また、富山市監査委員として、月例の監査に参加することとなりました。

5月には、JAなのはなの副組合長に選任いただき、農協経営に携わることとなりました。

### 令和4年度を振り返り

7月には、安倍首相が凶弾に倒れ、統一教会問題が立ち上がりました。統一教会が市政に影響を及ぼすことをいかに防ぐかが会派結束のテーマの一つであったが、この事件は本当に驚きでした。

10月には、牛ヶ首用水土地改良区の理事に選任いただきました。

3月議会が終了すると、本任期後半のスタートです。

市民目線で戦える鋼のような自分と会派づくりを目指したいと思えます。

### 発行の目的

本傍聴ダイジェストは、私の質問をご覧いただく際の補助資料として、平成29年12月議会より作成しているもので、本号で、通算18号目の発行となります。

私が質問の際に、どういう考えで質問をしているのか、何を目標としているのか、本資料を参考にご覧いただけますと幸いです。議会質問は、インターネットで、数日後録画がアップされます。バーコードをスマホで読み取っていただくだけでいただけます。

尚、本紙作成および配布に当たり、第1号より、**政務活動費は一切使用しておりません。**

江西照康



20番江西照康



市議会党派自民党 幹事長  
建設委員会委員  
議会改革検討調査会委員  
議会運営委員会委員  
各派代表者会議委員  
富山市監査委員会委員

発行  
富山市打出828  
江西照康

富山市行政のギモンを江西照康が質問します!



江西

照康

早いもので、本任期前半、最終の本会議です。令和4年度最終補正と、令和5年度当初予算を審議します。

一般質問では、**3つの質問**を行います。

前の質問者にコロナ等で欠席が出た場合は、**9日の午後になる可能性**があります。

質問最終日の割り当てとなったことから、A3企画復活です。質問の趣旨を丁寧に解説します。



# Q1 周辺市町村から考える 都市計画について

## 学校再編と都市計画は無関係？

6月議会において、旧富山市において15校ある統廃合対象小学校の内、12校が市街化調整区域であることについて、原則住宅を含む建築物を建ててはならないという、市街化調整区域の規制が影響しているのでは無いかとの質問に対し、担当部長はその影響ではないとの回答を示した。

また、旧富山市の面積のそれぞれ約1割、2割を占める、水橋（5校が1校へ）、和合（4校が1校へ）、呉羽（6校が1校へ）に小学校がそれぞれ1校しか存在できなくなるような都市計画は偏ったものではないかとの問いには、偏りが無いとの認識を示した。担当部長はもはや線引き都市計画の守護神である。富山市における線引き都市計画は、50年前の一

面田んぼの世界にデザインされたものである。そしてそれは、その際にまだ人口が増え続けると思っていたのか、最初に身の丈を超えた面積が、富山市東南部に設定されてしまったと考えている。藤の木、新庄、山室の広大な農地である。

## 溢れ出した 都市計画

これらの地域に常願寺川を挟んで隣接する舟橋村。この舟橋村のホームページによるとその人口は、平成7年には1千6百58人であるが、令和4年には3千2百68人と倍増している。理由は富山市の偏りすぎた都市計画が線引き都市計画の圧力のない地域にあふれ出したものに他ならない。

舟橋村土地利用の変化		単位 ha		
年次	総面積	農地	宅地	その他
平成4年	347	227	36	84
平成9年	347	203	41	103
平成14年	347	191	46	110
平成19年	347	185	50	112
平成27年	347	179	54	114

右図は舟橋村のホームページで公開している土地の用途である。農地が減り宅地が増えている。平成27年以降の農振除外、農地転用を調べたところ、平成27年以降では、農振除外が3ha。農地転用は8haされており、富山市とは対照的に柔軟に宅地開発が進行していることが推測できる。

## 次は立山町

富立大橋が開通し、藤ノ木から立山町へのアクセスは飛躍的に向上した。現在は4車線化へ向け、工事が進んでいる。舟橋村よりも面積が大きく、大型ショッピングセンター建設の噂の続く立山町が、規制の厳しい富山市の受け皿となることは脅威である。

今般富山市では線引きの見直しを県に提案するが、いたって無難な見直し案である。

いじることが難しい富山市の線引き都市計画はもはや、限界に達している。この周辺市町村の開発状況から、富山市の線引き都市計画の撤廃を問うていきたい。

## 藤ノ木郷土史

藤ノ木郷土史なるものが昭和58年に発刊されている。本紙を読み進めること！

旧島村が富山市に編入されて十数年を経たけれども、地方自治の主体は旧町内の中央部にあった。当地域は郊外の東辺農村地帯として旧態依然たる状況で、文化的発展は達せられる見通しは全くなかった。

：校下住民が結束して：藤ノ木校下自治振興会が誕生したのは昭和32年4月のことである。：昭和34年頃小規模校を統廃合しようとの風評が流れた。当時児童数百八十人程の藤ノ木小学校も

当然その槍玉にあげられるはめになった。校下唯一の文化施設を奪われてはならぬと、さっそく緊急役員会を招集...

富山市最大の藤ノ木小学校区は今の都市計画以前はこのような状況だったとのこと。藤ノ木地域の当時の人口は当時の舟橋村よりも少なかったようです。

現在線引き都市計画の影響で小学校再編の憂き目に遭う地域も、今の私たちの頑張り次第で未来は変わるものなのです。

## Q2 市営住宅の共益費について

電気料金の値上げが凄まじいことになろうとしている。電力各社で違いはあるが、北陸電力では規制料金の値上げ幅を平均45%超で、4月に実施できるように申請したと発表している。このところ色々なものが値上がりしてきている

聴に来ておられたことを覚えていて。地元として、この齋場だけを、お別れの場として欲しくないという強い思いがあったのである。現在富山市には、他に大沢野齋場、婦負齋場、そして北部齋場がある。希望をすればどの齋場でも利用することは可能であるが、実際は式場やお寺、自宅等の都合で限定されるものと思われる。

一方、あるご婦人より、自分は北部齋場になると思うんだけど、あの齋場でお別れは嫌だと心配される話をお聞きした。実際設備の差が歴然の北部齋場は、富山齋場に次ぐ規模の稼働であり、齋場の稼働のピークはこれから20年は続くのだから、早期の改築が得策でもある。

にもかかわらず、北部齋場の整備の話が当局から聞こえて来ない。改築の早期実現を目指し、当局の見解を問うてみたい。

取りまとめる町内会長より、相談を受けた。現在町内会費に合わせ電気料金等の支払いの為に共益費を集金しているが、電気料金の値上げに合わせ、共益費を値上げしなければならぬ。現在満室ではない為、値上げの割り当てが厳しいというものである。

## いくつかの課題

調べてみると、例えば本市営住宅は、総戸数1百40戸に対し、入居戸数は1百10戸と8割程度である。30戸数分の割り当ては現在の入居者で負担しなければならぬ。満室でないことは、入居者

## 共益費は 街灯等の電気料金

富山市内の街路灯は概ねLED化された。しかし、本市営住宅内の街灯は、電力を大量に消費する水銀灯のままである。市営住宅の役割から考えれば、あべこべであり、当局は不作為であると言わざるを得ない。

市営住宅課に掛け合ったところ、LED化を含む対策を検討してくれるとのことであるが、通常の流れでは遅い。2年間藤井市長と接して感じる中に、市長のやさしさがある。

本質問を行うことで、市長の琴線に触れ、解決のスピードアップを期待するものである。



煌々と光る駐車場部の水銀灯街灯。廊下部分は住人同士が節電し消灯している



## Q3 齋場の整備について

令和3年8月に富山市西番に、富山市齋場が竣工した。

この新齋場は、やわらかな光に包まれる儀礼空間をつくり出すとともに、遺族のプライバシーにも配慮がなされ、誰もが使いやすいユニバーサルデザインが取り入れられている。

施設利用者が、故人を忍び心安らかに別れたい。

できる、まさにそんな構想通りの施設に出来上がった。

しかし、この施設の基本構想が立ち上がった時、この齋場の地元となる地域の皆さんの心は決して穏やかなものではなかった。

私は当時の地域の皆さんの意見を聞いたこともあるし、当時の委員会にも地域の有志の方々が傍